



八期歴史会往来第25号

2019年7月4～7月30日(火)

(令和元年第4号)

7月1日より鹿児島地方にあの86水害に匹敵する大豪雨が発生すると3日間程大変な全国ニュースでしたが幸いにも川の決壊も、大規模がけ崩れもなくよかったです。

○永野さんこちらこそご無沙汰しています。

とりあえず、森くんも入れて3人分予約しておきます。予約がとれたら連絡します。 クマモト

○2019年7月9日(火) 12:42 永野和枝 <kazue142@icloud.com>:

お久しぶりです

私もお寺から盆の法要があるといってきましたが?迷っていましたが…ぜひ参加したいです。

生きているとき いろいろ学びたいです。宜しく願います

薩摩国 我が地元です 興味があります。一緒にさせてください。

○大石くんは残念ですね。

森くん、永野さんはどうですか。

私は、当日はコーラスの練習日ですが、新名一仁さんが来るとなると、休んででも行きたいと思っています。

まだ予約をしていませんが、ご両人行かれるのであれば、一緒に予約メール入れますが・・・。

返事ください。

クマモト タツオ

○2019年7月9日(火) 9:17 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>:

21日の日曜日はあいにく留学生とのサマーキャンプの2日目で行けません。

おふたりで行かれたら?資料でも貰えたら1部余計に貰えたら願います☺

○森くん 永野さん クマモトです。

上記のとおり決定しました。当日は、3人でランチでもしますか。

それとも、12時15分頃の集合にしますか。

21、22日は「おぎおんさあ」で街は賑わっているはずです。コピーは私が持っていきます。

クマモト タツオ----- Forwarded message -

-----From: 平岡 六太郎 <event@senganen.jp>Date: 2019年7月10日(水) 9:30

Subject: 【参加証】島津義弘没後400年シンポジウムについて(仙巖園)

To: 隈元達雄 <takumamoto2@gmail.com>

この度は、島津義弘没後400年シンポジウム～戦国島津最前線～にお申込みいただきありがとうございます。こちらのメールがシンポジウムの参加証となります。詳細は下記の通りです。

参加証【3】名様

日時 2019年7月21日(日)13時～15時30分

会場 かごしま県民交流センター 2F 大ホール

受付 12時30分からホール前で受付を開始します。こちらのメールを受付スタッフにご提示ください。

ご来場を心よりお待ちしております。

お問合せ先 仙巖園「島津義弘没後400年」係

〒892-0871 鹿児島市吉野町9700-1 EL: 099-247-1551

(担当: 岩川)

1 ギガ超えの長い（割には画像が良くない）作品です。後半山を下ってからはきれいに回復しています。つまりズームの失敗です。2004年、今から15年前つまり60そこそこの今から考えると（すべてにおいて若かった時代）でした。

中国語で光陰矢の如しのことを時間過的全快唾（シージェン・グオ・ダ・ゼンクアィア）といますがあつという間の15年です。世界第2位の経済大国になる前の大陸をこのあと10年ほどあちこち独りで旅できたことは幸せと言えそうかも知れません。

今は何もかも高くなってインフラ（交通網）も進みあつという間に移動が可能になりある意味あじけない国になってしまいました。いい時代に周れた運を（籤運のなさの代わりに）神に感謝です。

大石慶二 keiji oishi

YouTube 動画 夢中の中国回憶（中国ぶらり旅）④張家界から宝峯湖巡り2004 をプレビュー



○長編ドキュメンタリー 観終わりました。よくもまあ こんな景色があるものだと感心しました。とにかく、人が多すぎる日本へ移民しないことを願います。記録し続けたご苦労もたいしたものだと思います。録画をしていると、キチンと撮れているかどうか気になって、自分だけ楽しめていないことがありました。中国人の楽しみ方は欧米人に似ている日本人は違うというのは、おそらく長い歴史的な背景に起因していると思います。カサエル（シーザー）の「ガリア戦記」あるように、一族・民族が生き残るために戦い、奪い続けました。幸いにして、日本には、中国や欧米のような民族が生き残りをかけた戦いの歴史はなかった。それは、みんなが食べて行けるだけの十分な食料があったからだだと思います。元寇や日露戦争はありました。結論として、日本人は、恵まれた自然環境で過ごしてきた能天気で「米の飯とお天道様はどこへ行ってもついてまわる」という 温室育ちだと思っています。

ちらが正しくても、外国と言い争いをして勝つことは至難の業です。「和を以て貴しとなす」のお国ぶりです。

それ故に、尊敬され、侮りを受けることがあります。本人にとってグローバル化とは日本人本来の心を維持しながらいざ言い争いになったら負けない弁論攻撃術を修得することだと思います。

=====西山 和宏

○大石さんこんにちは

なかなか こちらも 梅雨明けそうにないです。ぐずついた日が続いています。

旅行代金 昨日 振り込みました。

今年 私が世話している マンション屋上庭園で 大賀ハス 一鉢植えておりました。

今年 3月に 初めて 根を植え替え 栽培にとりくみました。

7月10日に蕾が開き、翌日から 花が午前中に見られるようになりました。夕方 つぼんで朝方 また 開きます。 4 日間 花が見られます。家内が スマホで撮影したものを 転送で 送信します。よろしく木場 祥雄

○昨日はお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

大石くんは一緒に行けず残念でしたが、日中友好のためですから仕方がありませんね。

まだまだイベントは続くようです。また皆で一緒に行きましょう。

昨日はおじさん合唱団もサボってマロンでそれぞれ好きなものをもってゆっくりできました。

これも感謝です。

ばたばたまとめましたから、間違いが多いと思います。(読み返していません)

また聞き逃したことや、聞き取れなかったことなど多かったです、忌憚のない意見を言ってください。

クマモト タツオ

○先日八期生の歴史好きな仲間と一緒にさせてもらい 有難うございました。

ドシャ降りのなか 熱心な歴史愛好家が集まり 島津義弘 講演があり 私も参加出来たこと嬉しく思いました。

義弘公 という人物像が理解できました。島津四兄弟の話し

我が家の近く 大石様河 という地名があります。三男の歳久さんのゆかりの地名だそうです…次から次と話題が広がります…感謝 感謝 又 誘ってください。

マロンのコーヒーゼリーの味忘れませんか？(^。^)

○島津義弘 没後400年シリーズに寄せて クマタツ

番外編 シンポジウム戦国島津最前線 2019、7、21

2019年7月21日は島津義弘の命日である。元和5年(1619)のこの日に85歳の生涯を終えたという。この日に合わせて鹿児島県民交流センターにおいて「島津義弘没後 400年 シンポジウム 戦国島津最前線」が開催された。主催は仙巖園と尚古集成館、共催団体として鹿児島県と三州同盟会議ほかである。

第1部 戦国島津はどのように研究されたのか。

新名一仁氏(鹿児島大学・志学館大学非常勤講師)

著書に「島津四兄弟の九州統一戦」「中世島津氏研究の最前線」など。

松尾千歳氏(尚古集成館館長、鹿児島大学・鹿児島国際大学非常勤講師)

著書に「島津斉彬」「西郷隆盛と薩摩」など。

岩川拓夫(仙巖園学芸員、鹿児島国際大学非常勤講師)

著書に「中世島津氏研究の最前線」「新薩摩学8中世薩摩の雄・渋谷氏」以上3人の参加者で討論がなされた。

戦後から現在までの島津研究史について 義弘没後300年記念祭は加治木を中心に行われた。

戦国時代～江戸時代の研究は桑波田興(鹿大)の中世後期の研究に始る。

その後、三木靖氏の「戦国島津氏」が出版されるが、これが初めての本と 言っている。五味克夫氏も研究する。

1980年代に「鹿児島県史料」が発刊されたことで、島津氏研究も大きく発展する。

1990年代になると九州全体、近世という立場から島津氏を振り返る動きが出てきた。また琉球との関連も注目され始めた。特に外国への窓

口、外交面でも研究される。

見逃してならないのは、犬追いものなどの文化面である。教養を身につけることなども研究されはじめた。

2000年以降は「中世島津氏研究の最前線」などが発刊され更に研究が進んできた。この中には若い研究者の論文も多い。研究内容は次のような分類だという。

1、相州家による島津本宗家家督「継承」について。

島津本宗家14代当主・勝久が薩摩守実久の横暴に苦しむのを見た相州家 忠良(日新斎・じっしんさい)がその子・貴久を勝久の養嗣子とする。その貴久が戦国大名・近世大名島津氏の事実上の祖となっていく。新名氏は本宗家の勝久が養嗣子として貴久を受け入れた形ではあるが、実態はクーデターと断言していた。しかしそれも出水の薩州家の実久の巻き返しですんなりはいかなかった。最終的には、日新公、貴久、義久を長男とする四兄弟の三代に渡るラインで島津氏は存続する。

2、島津四兄弟の「実像」

義久、義弘、歳久、家久の個性豊かな四兄弟の連携はどうだったのか。

一般的には非常に仲良く、手を携えていったようにいわれている。

実態は義弘は兄・義久を立てるが、義久はそうでもなかった。そのことは朝鮮の役や関ヶ原の戦いなどで義弘が中心で、義久からの援軍は来なかったことなどに顕著である。

3、義弘は「当主」だったのか。

義弘が17代当主であったと、正統系図にもあるが、昔から異論がある。家督を譲られたのか、譲られなかったのか不明である。

豊臣政権あつての義弘であり、実際豊臣政権によって義弘は立てられているが、実権はなかった。周囲も認めていなかったと思われる。

しかし、義久が体調を悪くして、譲る意思はあったようだが、豊臣に負けて実現はしなかった。

4、朝鮮の役における島津軍。

泗川で1万の島津軍が20万の朝鮮軍を破り「鬼島津」と呼ばれるが、コマにしか過ぎない。戦い全体では弱い面などいろいろあった。

5、関ヶ原における島津軍 捨てカマリ作戦など奇抜な戦いをした。

「関ヶ原での島津軍の布陣は明治時代の創作らしい」と桐野作人氏は言っているという。また石碑が建てられている陣跡は、実際はもっと南の方ではなかったかという話もある。

まとめ「義弘と戦国島津の魅力」

新名氏 義弘は猛将には違いない。兄弟とのスタンスの違いはあった。細やかさもあった。秀吉政権下では、兄義久を立てつづけた。

松尾氏 英雄には違いないが、加治木島津家に伝わる文書によると奥さんに対する愛は、一人の男性としての想いに溢れている。

第2部 戦国島津はどのように発信されるのか。

宮下英樹(漫画家)

2001年 ちばてつや賞大賞受賞。

2004年より「センゴク」をヤングマガジンに連載開始。信長 秀吉、家康に仕えた戦国武将・仙石秀久の一代記を綿密な取材・考証に基いて描き大人気作品となる。

川越宗一(作家)

2018年に朝鮮出兵と琉球出兵を舞台にした歴史小説「天地に燦たり」で第12回松本清張賞を受賞しデビュー。島津の侍大将の物語。

小栗さくら(歴史タレント)

歴史をテーマにした楽曲を手がけるユニット「さくらゆき」に所属。

学芸員資格を持つ本格派のタレントとして、テレビや講演会の他、

NHK 公式イベントや全国の歴史イベントに多数出演。

この日は第2部の司会もつとめた。

第2部は漫画やアニメに弱い私にとっては、特筆すべきことはなかったが「天地に燦あり」は読んで見たいと思わせる本の紹介であった。

今回のシンポジウムでの一番の感想としては、島津氏の関係会社の歴史研究者もこれまでのいわゆる島津史観とかにとらわれることなく、新しい研究にも積極的で、本当の島津氏の歴史を知ろうとする姿勢があるということに驚いたということだ。これからも新名一仁氏等の研究を中心に島津氏の実像解明が進んでいくことだろう。

○大石さん

こんばんは

すみません 今晚 メール開きました。

ようやく 梅雨明け 今日の夕刻は 明日香、橿原市内は 一時間 120mm前後の大雨

大雨 洪水、避難勧告が 大和郡山市内 に 発令されていました。

旅行代金 銀行口座 あっています。 金額は 6月10日付けで 54,545円となっています。

(森さんより 最終案内文 で 同封された 御見積書です あなたの金額は 6月11日付けのものです)

明日にでも 生駒ツーリストへ 男性の部屋 数も連絡してみます。 夫婦以外 女性は 相部屋 2つ 一人部屋 1つということで 連絡確認します。以上 木場 祥雄

追伸 大賀ハス 先般の 3輪に 加え いま 2輪 小さなつぼみをつけてきたいです。

テレビによりますと 大賀ハスは 8月中旬まで 咲くようです。 根が大きくなり 鉢から盛り上がって 来ています。 木場

○こんにちは！

やっと梅雨が明けましたね。

明けましておめでとうございます。という人もいるそうですね。違和感があります。

さて、そろそろ、旅行代金の振込しようと思います。

「みずほ銀行生駒支店 普通 1442281 (株) アイテム」 金額54,181円

以上でよかったのですね。

追加3,000円(いっそ5,000円にして残金が出たら通信費にどうでしょう)はバスの中で徴収です

ね。部屋割は男性は相部屋、女性は①堀田さんと永野さん ②安倍さんと伊藤さん ③丸野さん1人部屋(シングル)性は木場さんに任せます。分からなかったら部屋数を教えてください。ぼくが案分します。

本当にあと1か月、早いものですね。夜はカラオケを愉しみましょう。

近づいたら交信し合いましょう。

○生駒ツーリスト 池田様

おはようございます。

いつもお世話になっております。厚く御礼申し上げます。

さて、四国旅行も2か月たらずとなってきました。

振り込みの方も 進んでいることと 思われます。

そろそろ部屋割りも考える頃と なったようです。

鹿児島の方から 連絡来ております。 男性の部屋は どれぐらいだろうか？

夫婦 2組 女性 二人部屋 2組 一人部屋 1 で 男性 9名 で 18名

男性 9名h いくつ どんな 部屋になりますか

ご返事方 よろしく お願いします。

木場 祥雄

大石さん森さんこんにちは

なかなか こちらも 梅雨明けそうにないです。ぐずついた日が続いています。

旅行代金 昨日 振り込みました。

今年 私が世話している マンション屋上庭園で 大賀ハス 一鉢植えておりました。

今年 3月に 初めて 根を植え替え 栽培にとりくみました。

7月10日に蕾が開き、翌日から 花が午前中に見られるようになりました。夕方 つぼんで朝方 また 開きます。 4っ日間 花が見られます。

家内が スマホで撮影したものを 転送で 送信します。

よろしく木場 祥雄

○ちなみに史実によれば天正12年の「沖田畷の戦い」の龍造寺隆晴の率いる5万の大軍は実際には5千ほどで家久率いる2千プラス3千（有馬？）の5千の対等だった、と書いてあります。まあ倍としても1万くらいのものでしょうか。数はあてになりませんね。

「難忘的中国回憶㊦」どうぞ。

○昔がそうなら

今日でもデモ隊主催者と警察の発表の数字のようなものでしょう。

5万の兵を出すには、その5～10倍の人口が必要でしょう。

それとそれを支える食料の生産。 西山

○7月26日 kumamoto

よっ 大石先生！ と声をかけたくなるような先生ぶりでした。学校の様子がよく分かりました。

2004年だからちょうど15年前ということになりますね。

湖南大学の教授がタバコを吸いながら授業をされているのには驚きました。教授の前にあった瓶はお茶でしょうか。まさかお酒じゃないでしょう。

街を歩くのに、横断歩道以外を平気で歩くというのも国民性でしょうか。それとも15年経っていくらかマナーはよくなったのでしょうか。

生徒たちの服装も日本並みでバスも良くなっていますね。

大石くんも街の中に溶け込んでいますね。湖南料理は一見 日本のカレーのようにも見えましたが、肉などを煮たものがご飯にかけているのでしょうか。

今日の動画は生徒たちとの学校での様子や、休日を利用して大石先生と一緒に出かけるなど、今までとは違うもので、これはこれで大いに楽しみました。

クマモト タツオ

○目の上のたんこぶだった伊東氏を破り、大友宗麟との戦いにも勝利し、三州統一を成し遂げた島津四兄弟が次に向かった敵は、九州三強の一人と言われた肥前の雄・龍造寺隆信だったのですね。

しかし、その前に肥後の諸勢力ともいろいろな駆け引きがあったようで、4男家久も義久や義弘の言うことを聞かないという独断専行もあったのでしょうか。このあたりにも島津四兄弟が必ずしも一枚岩ではなかったというのが表れているのでしょうか。それとも、家久だけが母親が違い、上の三兄弟とは

10歳以上も違ったというジェネレーションギャップでもあったのでしょうか。いやいや、それは穿った見方かも知りません。

龍造寺隆信は戦国時代～安土桃山時代を生きた(1529～1584 56歳で討たれる)戦国大名ですが、佐賀城の近くに「誕生地碑」が、また同じ佐賀市内の高伝寺院内に「墓標」があるようです。私の大好きな長崎に行くときに是非とも寄ってみたいと思っています。佐賀は仕事ではよく行きましたが、嬉野温泉など行楽地以外の見所はほとんど行っていません。

今日記事にあった「沖田噺の戦い」でも使ったと言われる「釣り野伏せ」という島津氏の戦法も面白いですね。
おぼろげには知っていましたが、今回 wikipedia で見てみました。ご存知でしょうか、せっかくですから書いておきます。

軍隊を三隊に分け、うち二隊をあらかじめ左右に伏せておき三方から包囲壊滅させる戦法である。

先ず中央の部隊が敵に正面から当たり、敗走を装い後退する。これが「釣り」であり、敵が追撃のため前進すると左右両側から伏兵に襲わせる。これが「野ぶせ」であり、このとき敗走を装っていた中央の部隊が反転し追撃に転じることで三面包囲が完成する。

しかしこれは、高等技術であり、指揮者と部下の信頼関係や志気などが大きく左右するので難しい戦法でもあるという。

夏の暑い盛りに、島津氏の九州制覇の戦いの最終章が始まりましたが、この後、秀吉との戦い、朝鮮出兵、関ヶ原と全日本的な戦いがどのように描かれるのか楽しみです。

クマモト タツオ

○いつもありがとうございます。

なかなか躍動感溢れる筆致でサラッと読める。

往々にして、無勢が多勢に勝ることありの見本死中に活を求めるとはのことかの気迫あり、
今後に期待、大なり。 西山

○「歴史人 薩摩島津家 最強の真実」には「島津の謎11」という文章を桐野作人さんが書いています。私の 島津家の不思議といえますか、謎といえますか、それは、出自の問題、島津家の発祥の地の問題、私が八期記念誌に書いた7代・島津伊久(これひさ)の墓がないことであったり、今回の「島津義弘は第17代の当主だったのか」(前記、作人氏の11の謎にも取り上げてある)などです。

3の2では、次の戦いである大友の残存勢力との「岩屋城の戦い」が書かれるかと思っていましたが、今日の新聞ではその中の「島津義弘は第17代当主だったのか」というのも大きなテーマになっています。ここでは、尚古集成館の松尾千歳館長の義弘は当主ではなかったという説や、若い研究科の松迫知広氏の名代にはなって、当主並みの扱いは受けたが、当主までは至らなかったという説など紹介されている。桐野作人氏も前記論文の中で、また彼の小説「島津義久」の中で、豊後・大友氏との決戦に勝利し、三州統一が成り「四囲の環境が著しく好転したのを機に重大な決意を固めた。天正13年(1585)4月、次弟の武庫忠平(のちの義弘)に近年のうちに家督を譲ることを明らかにしたのである。それとともに忠平(義弘)を名代に任じた。名代とは三ヶ国の守護の義久を補佐する地位である」 その他にも詳述してあるが、家督の相続はなかったという説をとっている。

その反論もある宣教師ルイス・フロイスの記録、「上井覚兼日記」などなどでの記録である。

なお、精矛神社にある経塚に刻まれた「第17代藤原義弘」にある藤原姓は、どのような経緯で付けられたものか調べてみたが不明である。公家の藤原鎌足を祖とする藤原家からのものだろうと思うのが妥当だろうか。藤原氏の人物一覧にも藤原義弘の名はない。尚、私も精矛神社には2回行って経塚を見たが、風化により、文字の確認までは至っていないが、案内板にはそのように書いてあるので参考までに写真を添付する。

島津本宗家や島津関連商品の物品の所蔵・研究・展示している尚古集成館は系図重視の観点から義弘を第17代当主としている。館長の見解とは一見矛盾するようだが現状やむを得ないとことだろう。

今後の研究が待つかないだろうと思う。

これから先、いよいよ豊臣秀吉の全国制覇への動きの中で、島津家も豊後決戦に取って突き進むとする義弘・家久兄弟と、その回避を図ろうとする義久との駆け引きが始まるのである。

クマモト タツオ

○大石さん森さんおはようございます。

今日も 真夏日となりそうです。 今週いっぱい 猛暑続きそうです。

お互いに 熱中症に 気を付けましょう！

いこまツアーリスト池田様より メール入っております。転送します。連絡 あり次第 メールします。

よろしく木場 祥雄

From: 池田美智代 [mailto:michiyo.item@gmail.com]

おはようございます。

メール確認致しました。

お部屋割りの件ですがはっきりとしたお部屋番号はまだ先になりますが何人のお部屋になるか
確認致します。

わかり次第ご連絡致します。

またお振込みもいただいております。ありがとうございます。

暑い日が続きますがご自愛ください。

いこまツアーリスト

池田美智代